平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名　石原産業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4028　URL　http://www.iskweb.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井　一孝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長　(氏名) 寺川　佳成　TEL 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	31,271	8.3	△984	―	△970	―	△9,583	―
25年3月期第1四半期	28,877	△2.7	2,050	27.1	539	16.5	277	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　△8,566百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　1,425百万円　(143.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△23.95	―
25年3月期第1四半期	0.69	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	173,232	44,497	25.7
25年3月期	177,316	53,064	29.9

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　44,497百万円　25年3月期　53,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,000	4.4	△2,200	―	△3,300	―	△10,900	―	△27.24
通期	108,000	7.5	1,900	△31.9	300	△91.5	△7,800	―	△19.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	403,839,431 株	25年3月期	403,839,431 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,818,121 株	25年3月期	3,808,379 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	400,025,368 株	25年3月期1Q	400,083,401 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1 当四半期決算に関する定性的情報 2
(1) 経営成績に関する説明 2
(2) 財政状態に関する説明 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 3
2 サマリー情報(注記事項)に関する事項 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 4
(4) 重要な偶発債務 4
3 四半期連結財務諸表 5
(1) 四半期連結貸借対照表 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 9
(継続企業の前提に関する注記) 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 9
(セグメント情報等) 9

1　当四半期決算に関する定性的情報

(1)　経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における当社グループ売上高は、前年同期に比べ23億円増加して312億円となりました。セグメント別には、無機化学事業の売上高は、前年同期並みの148億円となりました。主力の酸化チタンは依然として昨年夏場以降の海外市況低迷の影響を大きく受けているものの、国内販売が概ね安定的に推移していることや、海外販売でも数量面の持ち直しや為替円安等のプラス材料もあったことから、売上高は前年同期比微減に止まりました。機能材料は、脱硝触媒用途向け、化粧品用途向け販売が堅調であったこと等から、前年同期比でやや増収となりました。有機化学事業の売上高は、前年同期比25億円増加して156億円となりました。主力の農薬は、国内販売は前年同期並みに止まりましたが、海外ではブラジルでの殺菌剤や欧州での除草剤が伸長したことに加え、為替円安の寄与もあり、前年同期比で増収となりました。建設事業の売上高は前年同期比２億円減少して４億円、その他の事業の売上高は前年同期並みの２億円となりました。

損益面では、有機化学事業では農薬の増収に応じて増益となりましたが、無機化学事業が酸化チタンの海外販売価格下落の影響で大幅な減益となり、９億円の営業損失（前年同期は20億円の営業利益）となりました。経常損益は為替差損益が前年同期の差損から差益に転じたこと等により減益幅が縮小し経常損失９億円（前年同期は５億円の経常利益）、四半期純損益は、シンガポール子会社の生産終了と会社清算を前提とした固定資産減損損失やその他追加発生費用の見込額112億円を特別損失に計上したこと等から四半期純損失95億円（前年同期は２億円の四半期純利益）となりました。

(2)　財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて40億円減少し1,732億円となりました。流動資産は、12億円減少し1,043億円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加91億円、現預金の減少４億円、たな卸資産の減少90億円、繰延税金資産の減少５億円等によるものです。固定資産は、28億円減少し688億円となりました。これは、シンガポール子会社の固定資産減損等に伴う有形固定資産の減少68億円、繰延税金資産の増加35億円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて44億円増加し1,287億円となりました。これは、長短借入金の減少41億円、支払手形及び買掛金の増加35億円や関係会社整理損失引当金を54億円計上したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて85億円減少し444億円となりました。これは、円安に伴う為替換算調整勘定の増加９億円、四半期純損失の計上95億円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第１四半期連結業績においてシンガポール子会社に関連する特別損失を計上したことや足元の為替や事業環境等を踏まえ、平成26年３月期の第２四半期累計期間と通期の連結・個別の業績予想を修正しています。

＜平成26年３月期第２四半期（累計）連結業績予想＞

連結売上高	56,000百万円
連結営業損失	2,200百万円
連結経常損失	3,300百万円
連結四半期純損失	10,900百万円

＜平成26年３月期通期連結業績予想＞

連結売上高	108,000百万円
連結営業利益	1,900百万円
連結経常利益	300百万円
連結当期純損失	7,800百万円

詳細と個別業績予想の修正につきましては、平成25年８月12日付の「業績予想の修正（連結及び個別）に関するお知らせ」をご参照ください。なお、この見通しの算出に際して前提としている第２四半期以降の主要通貨の為替レートは、95円/米ドル、125円/ユーロと想定しております。

2　サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4)　重要な偶発債務

当社四日市工場内の土壌・地下水の汚染修復対策並びに工場内に存在すると推定される埋設物への措置費用については、会計期間に支出した費用及び四半期末において合理的に見積もられる範囲内の費用を特別損失に計上することとしていますが、当期新たな費用は発生しておらず、平成23年度以前に計上した引当金の範囲で対応しております。それ以外で現時点において合理的に見積もることができない恒久的な汚染修復対策の費用及び埋設物の措置費用は計上しておりません。

1　四日市工場内における土壌・地下水汚染への対応

コンプライアンス総点検後に実施した当社四日市工場内の土壌・地下水調査の結果、主に過去の生産活動に由来すると考えられる汚染が判明したため、当社は三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出書を、所管する四日市市に提出しました。その後、第三者の学識経験者による環境専門委員会の指導と助言の下、汚染状況及び汚染源の特定に関する調査、汚染の拡散防止策にかかわる設計データを収集してきております。

平成24年度までに、原因物質の除去や不溶化の工法検討のための試験施工を経て、汚染地下水の拡散を防ぐための揚水設備と水処理設備を設置しました。さらに試験的な揚水を経て、本格的な揚水を段階的に開始した他、これまでの調査や試験結果などに基づく新たな試験施工にも着手しました。

平成25年度は拡充した揚水設備による本格揚水の継続と、追加の揚水浄化処理設備の設置検討、不溶化の試験施工結果を受けた現場適用検討など、具体的な汚染修復対策についての検討を継続します。

2　四日市工場内に存在すると推定される埋設物への対応

コンプライアンス総点検において公表した、四日市工場内において撤去を要すると考えられる埋設物等の現時点における調査結果は、下記項目に記載のとおりであります。将来的に一定の範囲での業績への影響は避けられないものと考えていますが、当該場所を含め工場内各所の空き地が、広くフェロシルトの仮保管場所となっている状況下では、効率的に詳細調査を継続することができず、現在も埋設物の種類・性状・埋設量等の全体概要の確認には至っておりません。

このような現状に鑑み、下記案件についての埋設物の埋設位置・範囲・性状・数量の特定や適切な撤去方法など更なる細部検討は、四日市工場内で仮保管中であるフェロシルトの最終処分が完了する平成27年度以降とし、それまでの間は、現在も実施している周辺環境への影響を継続的にモニタリングしてまいります。

①第２グラウンドの埋設物

当該場所は、過去に沈澱池として使用されていた経緯から、合法的に処理された廃棄物も存在しており、これらと違法性の認められる埋設物を峻別の上撤去することとなります。埋設物の位置を特定するための確認調査の過程で、地中での金属反応と他の地層と異なる地質が存在することを確認しており、ボーリング及び試掘調査を実施した結果、一部の廃棄物（金属物）の埋設が確認されています。

②旧ＳＲ（合成ルチル）工場跡地の無機性汚泥など

同工場跡地で仮保管していた施工地からの回収フェロシルトは、平成21年１月から搬出を開始し、搬出が完了した区画で一部掘削を実施しました。一部の掘削区画からは無機性汚泥が確認されています。

3 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,312	16,901
受取手形及び売掛金	25,611	34,742
商品及び製品	31,653	26,150
仕掛品	6,822	6,192
原材料及び貯蔵品	20,683	17,813
繰延税金資産	1,877	1,359
その他	1,789	1,387
貸倒引当金	△178	△200
流動資産合計	105,570	104,347
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	22,911	20,333
その他（純額）	32,134	27,896
有形固定資産合計	55,046	48,230
無形固定資産	284	259
投資その他の資産		
投資有価証券	4,885	4,718
繰延税金資産	9,106	12,702
その他	2,510	3,063
貸倒引当金	△87	△88
投資その他の資産合計	16,415	20,395
固定資産合計	71,745	68,885
資産合計	177,316	173,232

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,939	15,497
短期借入金	39,346	38,892
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	318	254
フェロシルト回収損失引当金	2,466	2,610
関係会社整理損失引当金	－	5,458
その他の引当金	598	853
その他	9,842	10,008
流動負債合計	64,713	73,775
固定負債		
社債	1,400	1,400
長期借入金	39,325	35,591
退職給付引当金	8,634	8,769
フェロシルト回収損失引当金	5,393	4,829
その他の引当金	591	619
その他	4,193	3,750
固定負債合計	59,538	54,960
負債合計	124,251	128,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	2,163	△7,420
自己株式	△681	△682
株主資本合計	55,529	45,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	255
繰延ヘッジ損益	△64	△42
為替換算調整勘定	△2,674	△1,691
在外子会社年金債務調整額	28	30
その他の包括利益累計額合計	△2,464	△1,447
純資産合計	53,064	44,497
負債純資産合計	177,316	173,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)
売上高	28,877	31,271
売上原価	21,662	26,631
売上総利益	7,215	4,640
販売費及び一般管理費	5,164	5,625
営業利益又は営業損失（△）	2,050	△984
営業外収益		
受取利息	12	17
受取配当金	25	31
為替差益	－	855
その他	68	84
営業外収益合計	106	989
営業外費用		
支払利息	460	455
持分法による投資損失	462	297
為替差損	418	－
その他	275	222
営業外費用合計	1,617	975
経常利益又は経常損失（△）	539	△970
特別損失		
固定資産処分損	225	121
関係会社整理損	－	11,267
その他	－	12
特別損失合計	225	11,401
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	314	△12,372
法人税、住民税及び事業税	202	249
法人税等調整額	△165	△3,037
法人税等合計	36	△2,788
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	277	△9,583
少数株主損失（△）	△0	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	277	△9,583

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	277	△9,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	9
繰延ヘッジ損益	8	21
為替換算調整勘定	1,207	882
在外子会社年金債務調整額	1	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	100
その他の包括利益合計	1,148	1,017
四半期包括利益	1,425	△8,566
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,424	△8,566
少数株主に係る四半期包括利益	1	－

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,836	13,123	664	253	28,877	―	28,877
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	43	341	385	△385	―
計	14,836	13,123	707	595	29,263	△385	28,877
セグメント利益又は損失（△）	2,536	47	△123	40	2,500	△449	2,050

（注）１ 調整額は、次のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額△449百万円には、セグメント間取引消去59百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　地域に関する情報

売上高　（単位：百万円）

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
10,964	6,091	3,479	8,251	91	28,877

（注）１ 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
２ 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール
(2) 米州　：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
(3) 欧州　：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,893	15,675	439	263	31,271	―	31,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	―	28	285	314	△314	―
計	14,893	15,675	468	548	31,586	△314	31,271
セグメント利益又は損失(△)	△1,089	555	△77	34	△576	△408	△984

（注）１ 調整額は、次のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額△408百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△464百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２　地域に関する情報

売上高　（単位：百万円）

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
10,466	5,814	4,605	10,315	69	31,271

（注）１ 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
２ 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール
(2) 米州　：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
(3) 欧州　：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「無機化学事業」セグメントにおいて、連結子会社ISK SINGAPORE PTE. LTD.での生産終了と会社清算に向けた準備手続き開始に伴い、5,808百万円の固定資産減損損失を計上しております。